

# 一 西双版纳水かけ祭りと

## 麗江を訪ねる旅6日間一

一 栗原 弘子 一

2017年4月12日 (水) 快晴

羽田6:40分集合。各自  
出国手続を済ませ8時40分  
定刻通り飛行機は離陸した。

いざ、行かん。雲南へ。

先ずは上海浦東空港。羽  
田から3時間のフライトで  
ある。今日は1日移動で終  
わる。



入国手続きを終え、荷物を受け取り出口へ。現地の旅行社の人が  
迎えてくれた。上海だけのガイドだそうだ。昼食には上海名物『小  
籠包』が供されるという。腹ごしらえをし、専用バスで国内線に乗  
るため、虹橋空港に移動。車窓から上海の街並みを観光。東方明珠  
塔を視界に入れながら、外灘・豫園・上海老街と近代的なビルと古  
き香りを残した建物が混在している通りをバスは行く。上海料理は  
どれも適度な塩味で、盛り付けも綺麗で美味しかったが小籠包は一  
人一個だった。名物なのだから他の料理を減らしてでも一人一蒸籠  
ほしかったと思っているうちに空港に着いた。

いよいよ麗江へ向かう。飛行時間は3時間45分。だが、17:05発  
の飛行機が離陸したのは、それから2時間以上後のことだった。ゲ  
ート変更が2回、待機していると上空でイベントがあり飛行が遅れ  
ていると云う情報が入った。運航に支障がでるイベントって何?な  
どと思っているとお弁当が配られた。ほかほかのご飯を頬張ると間  
もなく搭乗が始まった。食べかけの弁当を抱えて、19:10飛行機に  
乗り込む。23:30麗江空港に着き、荷物を受け取り、バスに乗りホ  
テルまで約1時間。部屋に着いた時は既に日付が変わっていた。長  
い一日だった。

### 4月13日 (木) 晴れ。麗江第一日目

朝はゆっくり10時半出発。麗江市は麗江ナシ族自治区の中心であ  
る。標高2400m。雲南省北西部、青藏高原と雲貴高原の境界に位置  
する。人口119万人。麗江古城地区だけで約14.9万人。ナシ族は全  
人口の3分の1程を占めるといふ。

# 日中学院報

2017年

# 6

毎月1回1日発行 第507号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)  
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3

TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590

URL <https://www.rizhong.org/>

E-mail [info@rizhong.org](mailto:info@rizhong.org)



5月13~14日

本科日本語科合同合宿

A 先生の新語コーナー



### ShēnGǎngTōng “深港通”

昨年12月にスタートした深圳と香港の株式相互取引制  
度。深圳と香港の両証券取引所の間で株式の売買注文を相  
互に取り次ぐこと。これまで外国から投資が制限されてき  
た深圳の上場銘柄を香港経由で売買できるようになる。中  
国ではすでに2014年11月、上海と香港の両市場間で株  
式の相互取引が始まっており、今回が2例目となる。大陸本  
土と世界の投資家により多くの投資チャンスをもたらした  
人民元の国際化にも有意義だとみられている。  
(A)

昨夜地元ガイドさんから酸素缶の準備があるとされた。1本100元。未使用なら料金は不要とのこと。今日は、バスで麗江古城の入り口まで行き、徒歩で『万古楼』を目指す。古城に入る前に、古城水車をバックに記念撮影をする。これが最初の集合写真。

麗江古城は明・清時代の木造建築の町並みや細い石畳の道が残り、その脇を清流が流れる静かな町だったそうだが、1996年の地震で大きな被害を受けるも、翌年世界文化遺産に登録するため整備された。観光客（我々含めて）の増加に伴い、土産物店や飲食店も増え、イベントも盛んにおこなわれているという。

ガイドは麗江に着くと2人になった。地元ガイドの鄭さんと、今後の全旅程を受け持つスルーガイドの劉さんだ。2人とも流暢な日本語を話す。特に劉さんの適切な速度と正確な発音に敬服した。先生は筑波大学に留学した人で、発音とアクセントを厳しく指導したと言う。

『万古楼』は古城の中で一番高い所にありここから城内の家並みや木府が一望出来る。木府は元・明・清と470年にわたってこの地を統治した木氏の館である。万古楼に行く道の両側には民芸品店や、食べ物屋がずらっと並ぶ。鄭さんを先頭に石畳の坂道を進む。四方街という石畳の広場では、ナシ族の舞踊が行われていた。標高が高い上

に、石畳の坂道に登るのは苦しい。時々大きく深呼吸する。

途中万古楼を頂く獅子山公園でひと休み。



ここでも町は十分に一望できる—ここで十分、パスしろ！—私の耳元で悪魔が囁いたが、参加した人達は元気で普通に登っていった。

万古楼は監督張芸謀、高倉健主演の映画『単騎、千里を走る』に出てきた所である。高さ33m。5層の楼閣を階段で登ったが、それ程きつなく抜群の眺望に登ってよかったとしみじみ思った。午後は白沙村見学。麗江を支配していた木氏がナシ族、ペー族、チベット族、漢族の絵師に描かせたと言われる大宝積宮にある壁画を見た。お釈迦様を中心に仏教、チベット仏教・道教の僧侶と一緒に描かれている。宗派の違いを乗り越えて仲良くしようという願いが込められていると言う。保存状態はここが一番らしいが、破損している部分も多く文革で破壊されたという。駐車場までは昔ながらの土産物店が多い街並みを行った。途中、藍工房、刺繍工房を覗く。旅の楽しみは、名所旧跡を訪ね、その国や土地の文化、歴史に触れ、郷土食を味わうこともそうだが、工芸品や民芸品に触れ購入することも旅の醍醐味の一つであろう。次の東河村は白沙村から約15分。馬で商品を雲南、四川・チベットに運んだルート『茶葉古道』の中継点として栄えた所だ。茶葉古道博物館を見学。茶葉古道は南路と北路に分かれており、麗江は南路ルートに属していた

次は四方街へ。ここで30分の自由時間。ここも『単騎〜』のロケ地で、映画に出てきた大きな橋があった。近頃雲南ではコーヒーも採れるそうだ。カフェで格段に味が向上した中国の珈琲を飲んだ。

夕食は麗江市内でナシ風の鍋料理。この日はOさんの誕生日で、旅行社がバースデーケーキと記念品を用意していた。4月生まれば他にMさんとUさんもいて、全員で歌を歌い拍手で祝福した。

## 4月14日（木）晴れ。麗江二日目

ホテル10時出発。今日は麗江古城自由散策の日と思い込んでいたが、木府見学コースと古城散策コースに分かれて行動。金团长は鄭さんと見学コース、散策コースは劉さんと森田さん。どちらのコースも其々満足のいくものだったようだ。



午後は黒龍潭とトンパ博物館、民族市場見学。黒龍潭から見える筈の玉龍雪山は靄が懸かっていた。あの神々しく荘厳な姿は限られた季節にしか見られないらしい。

公園は気持ちが良い穏やかな気分になった。有名なチベット仏教の寺、福国寺は参観できなかったが、寺内にある五鳳楼は鍵が掛かった扉を押し開けると、隙間から中が見えた。馬に乗った将軍らしき人の像（ナシ族の神様らしい）があった。トンパ博物館ではナシ族の祭司の写真を始め絵画、祭祀の様子の展示を見学。目下トンパ文字を継承する若者を育成しているそうだ。民族市場はその名に違わず様々な民族がいて、野菜や肉、日用雑貨を売っていた。

麗江を飛び立つのは22:55 午後は又麗江古城に戻り、プーアル茶の店を見学。お茶の説明や試飲を経てやっと自由時間。高級店なので、確かに品質も良く味も良かった。お土産に小さな沱茶が欲しかったので、別の店で試飲しながら看板娘らしい子とおしゃべりし

た。漢族でこの店の2階に住んでいるという。麗江で初めて会話らしいことができたので嬉しかったしモチベーションも上がった。

## 4月15日（土）晴れ/曇り

### 西双版纳（景洪）初日

広場は水鉄砲や、バケツ・洗面器などを手にした人・ひと・ヒトで埋め尽くされていた。タイ族の水かけ祭りは、市長の号令一下、水が猛烈な勢いで襲いかかって来た。「この旅行の最大の目的、水かけ祭りを堪能するぞ！」と勢い込み、渡された洗面器片手にいざ出陣。だが余りの人の多さに前進できない。水は容赦なく降ってくる。既に皆の姿はなかった。やっと池に近づくと、まるで満員電車に無理やり詰め込まれたかのように人々がひしめいている。水は容赦なく降ってくる。割り込めない。参加意欲は急速に萎えた。周囲を見回すと、スマホ片手に小高い植え込みに人々が群がっている。ほうほうの体で移動、見物を決め込んだ。気付くとEさんも一緒だったので、ほっとした。

リズムカルな音楽が大音響で鳴る。年に一度のお正月。否応なしに気持ちが弾む。カウントダウンが数分間隔で行われ、人々によって一斉に水がまかれる。自動小銃のような水鉄砲もある。みんな楽しそうに、お互いに水をかけあい祝福し合っている。祭りは町中い



たるところで行われ、走行中の車からも水が  
発射される。気候は暖かく人々は陽気である。  
恐らくもう二度と体験することはないかもし  
れない水かけ祭りの会場を我々は後にした。

午後は曼龍飛白塔の見学。景洪から約60km  
離れている。普段は塔の下まで走る電動カー  
トは新年のため運休。緩やかな坂道をタイ族  
の住居を見ながら歩く。途中陶器工房を見学。  
素朴な風合の焼き物だった。

勾配の緩い長い階段を登る。途中振り返  
ると緑の中に住宅が点在し心癒される風景が広  
がっていた。坂の両側にはゴムの樹林があり、  
木の幹には樹液を採る為にお椀のような器が  
括り付けられている。ゆっくり景色を楽しみ  
ながら塔の入口に向かう。

塔は別名「白塔」とも言い、その名の通り  
白色である。タイ族の人々は仏教を深く崇拝  
しており、この塔は西双班納のシンボリックな  
存在だという。以前は僧侶だったと言う地元  
ガイドのアイちゃん（漢語名：岩罕保）は明  
るい好青年で綺麗な普通話話す。塔から少  
し離れた場所にはホッソリとした黄金の仏像

が建っていた。仏堂はなく一体だけすくと  
立っている姿を見ていると、中華圏ではない  
ような錯覚が起きた。

市内に引き返す途中、検問所で検問を受け  
る。我々はバスに乗ったまま待機。劉さんと  
アイちゃんが全員のパスポートを持って検査  
を受ける。外には自動小銃を持った武装警察  
が歩哨に立っていた。テレビでは見たことが  
あったが、本物を見るのは初めてだった上に、  
警官の表情もどこかのんびりしていた為か、  
私は銃ばかり見ていた。

夕食は「泰家美食村」と言うレストランで  
タイ族の民族ショーを見ながら摂った。本格  
的なタイ族の料理だそうで、正月料理も振舞  
われた。特に、パイナップルをくり抜き、そ  
の中に蒸したもち米や黒米、ナッツ等が入  
った料理は甘酸っぱく美味しかった。又日本の  
御餅のようなものも供された。

夜、希望者は西双班納少数民族ショーを観  
覧した。麗江と両方のショーを鑑賞した金さ  
んによると、前者の方が良かったそうだ。

(次号へ)

## 日曜1日集中講座 2017年6月18日(日)

平日は時間がとれないという方も、  
この機会に学んでみませんか？

- ① **お試し中国語(中国語入門)**  
担当：小澤光恵・胡興智  
レベル：中国語を初めて学習される方
- ② **文法も楽しい～まず補語から**  
担当：栗田厚司  
レベル：中国語文法を一通り学習された方
- ③ **“听说説”** 担当：淳于永南  
レベル：中国語検定3級以上の方
- ④ **今の中国語を聴く** 担当：張蕾  
レベル：基礎課程修了程度の方

### ⑤ これからの中国ビジネス —視点の確認と展望

担当：三瀧正道

レベル：中国語のレベルは問いません

各コース共通

○時間：10:00～12:00 / 13:30～15:30 (4時間コース)

○受講料：8,000円(定員：16名) ※教材費不要

○お申込み：お電話、インターネット、受付等でお  
申込み下さい。

○お支払：窓口もしくは、銀行口座へお振込み下さい。



## 2016年度 貸出・予約ベスト10

電車内がスマホで溢れる中、熱心に本を読んでいる人を見ると嬉しくなります。「何を読んでいるの?」と、そっと覗いてみたくなります。

さてこの一年、図書室ではどんな本が愛されたのでしょうか。昨年度の貸出総数4833点からベストリーディングの発表です。

### 貸出 : 本/雑誌部門

- 1位 中検準1級・1級問題集 2016年版
- 1位 中検準1級・1級問題集 2014年版
- 3位 中検準1級・1級問題集 2015年版
- 4位 中国語筋トレ100読練習法
- 5位 出るところだけ! 中国語検定3級合格一直線
- 5位 耳が喜ぶ中国語リスニング体得トレーニング
- 5位 中検2級問題集 2016年版
- 5位 中検3級問題集 2015年版
- 9位 你最喜欢谁? (Whom Do You Like More?)
- 10位 通訳メソッドを応用した中国語中級会話700
- 10位 中検準1級・1級問題集 2012年版
- 10位 中検3級問題集 2016年版

### 貸出 : DVD部門

- 1位 グオさんの仮装大賞
- 2位 狙った恋の落とし方
- 2位 活きる (特別版)
- 4位 悲情城市
- 4位 幸せの絆
- 6位 薄氷の殺人
- 7位 初恋のきた道
- 7位 さらばわが愛 霸王別姫
- 7位 サンザシの樹の下で



- 10位 こころの湯
- 10位 芙蓉鎮
- 10位 海洋天堂



### 予約 : 全部門

- 1位 グオさんの仮装大賞 (DVD)
- 2位 KANO カノ1931海の向こうの甲子園 (DVD)
- 3位 台湾かあさんの味とレシピ (料理本)
- 3位 薄氷の殺人 (DVD)
- 3位 長江 (さだまさし監督 DVD)
- 6位 親愛的 (邦題:最愛の子DVD)
- 7位 西游记1 大闹天空 (語学テキスト)
- 7位 こんなとき、どう言う?  
中国語表現トレーニング (語学テキスト)
- 7位 石山雄太の京劇入門 (DVD)
- 7位 僕たちの家 (うち) に帰ろう (DVD)
- 7位 流 (小説)

中国語検定の問題集が多い中、4位を占めた『中国語筋トレ100読練習法』は、会話力が弱いことを長年の悩みとしていた著者が、ふと閃いた練習法を実践してみたところ驚異的に力がついたという体験から出版したもの。5位の『出るところだけ! 中国語検定3級合格一直線』は本学院の長澤文子講師と盧尤講師の共著で、4級、準4級版も出版されています。これからも皆さんの要望に応えられる図書を備えていきたいと思えます。

### — 新着図書 —

『誤用から学ぶ中国語 続編2 助動詞、介詞、数量詞を中心に』『中検3級対応 クラウン中国語単語800』『中検4級対応 クラウン中国語単語700』『四書五経入門 中国思想の形成と展開』『知日 桜花入魂』『中国紀行CKRM』ほか、図書室掲示板にてお知らせしております。





星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
				<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
<b>4</b>	<b>5</b> ●日本語科ホーム ステイ募集開始	<b>6</b>	<b>7</b> ●別科昼間昼食会 (～9日)	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b> ●特別講演会 飯塚 容先生13:00～
<b>11</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>14</b>	<b>15</b> ●本科2年定期 試験(～21日)	<b>16</b> ●別科公開講座 入門(18:45～)	<b>17</b> ●日本語科ホーム ステイ家庭募集 締切
<b>18</b> ●日曜1日集中講 座	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>21</b> ●本科短期研修結 団式	<b>22</b> ●本科短期研修授 業体制 (～7/28)	<b>23</b>	<b>24</b> ●本科短期研修出 発(～7/30) ●別科265期授業 最終日 ●別科公開講座入 門・基礎(13:00 ～)
<b>25</b> ●中国語検定試験	<b>26</b> ●別科学期間休 み(～30日)	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	
●7月の日中学院 ・1日…別科266期授業開始 ・2日…日本語能力試験 ・3日…日本語科定期試験(～7日) ・5日…本科1年朗読大会		・15日…日本語科ホームステイ(～17日) ・21日…日本語科個人面接 ・25日…本科定期試験(～7/31) ・30日…本科2年短期研修帰国 ・31日…本科・日本語科 1学期授業最終日		<b>8月の夏期集中講座案内</b> 8月8日(火)～10日(木) 夏期集中講座を開講します。詳細はHP等 ご確認ください。		

## 本科公開講座のお知らせ

本科(2年制専門課程)説明会を兼ねた  
中国語無料公開講座

大学編入を目指す方に! 中国語を身につけ新たな仕事を目指す方に! 本科で専門士を取得すると、中文科の大学編入が可能です。学士の資格が欲しい、大学等中途退学したがもう一度大学で学びたい、中国語や中国関係の分野を極め仕事に生かしたいなどを、本科で学んで実現させませんか以下の日程で、本科入学希望者を対象に発音を中心とした無料公開講座(オープンキャンパス)を開催します。後半には、本学院日本語科に学ぶ中国人留学生や本科在校生との交流会も予定しています。お気軽にご参加下さい。

- ① 2017年8月26日(土)
- ② 2017年11月11日(土)
- ③ 2018年1月27日(土)

※①～③は同様の内容となります。どちらかご希望のお日にちをお申込み下さい。

9:30～11:30 発音公開講座  
11:30～13:00 在校生との交流会

申込方法: 日中学院受付、もしくはHPからお申込み下さい。

## ○日中学院特別講演会報告

5月20日(土)に、中華人民共和国駐日本国大使館・政治部公使参事官薛劍先生にお越し頂き、「今の中国関係にまつわるいくつかの疑問」として、現

在の日中関係の実態は? 中国は北朝鮮をかばおうとしているのか? など今の日本人がいただく疑問点について、長年にわたり



中国と日本の現状を見てこられた薛先生の視点からお話し頂きました。当日は、70名近くの方が熱心にお話を聞かれていました。さらに質疑応答の時間も、多くの質問が出されました。

## 6月の特別講演会予定

○6月10日(土) 13:00～15:00

～中国現代文学の魅力ー私の翻訳経験から～  
講師: 飯塚容 先生

※参加希望の方は、日中学院受付までお申し込みください。